2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　黒田精工株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　7726　　ＵＲＬ　https://kurodaprecision.com/jp/
代表者　　（役職名）取締役社長　　（氏名）黒田　浩史
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）荻窪　康裕　　ＴＥＬ　044-555-3800

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　2026年12月11日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	10,835	25.7	117	―	△34	―	714	493.3
2026年３月期中間期	8,617	△1.9	△74	―	△87	―	120	△42.4

（注）包括利益　2027年３月期中間期　757百万円（637.5%）　2026年３月期中間期　102百万円（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	127.56	―
2026年３月期中間期	21.03	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	31,182	12,249	38.8	2,157.22
2026年３月期	29,203	11,626	39.2	2,048.70

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　12,096百万円　2026年３月期　11,458百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	10.00	―	10.00	20.00
2027年３月期	―	5.00			
2027年３月期（予想）			―	15.00	20.00

（注）１.直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
２.2026年３月期 第２四半期末配当金の内訳 創業100周年記念配当金 10円00銭

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,800	32.3	770	―	550	―	―	―	―

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

通期業績予想の親会社株主に帰属する当期純利益について、現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。連結業績予想については合理的に予測可能となった時点で公表します。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規　ー社　（社名）ー、除外　1社　（社名）KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD.

（注）詳細は、添付資料．９ページ「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）」をご覧ください。

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	5,757,523株	2026年３月期	5,743,286株
② 期末自己株式数	2027年３月期中間期	150,150株	2026年３月期	150,150株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	5,600,254株	2026年３月期中間期	5,723,860株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、（添付資料）３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) …… 9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) …… 9
(セグメント情報等の注記) …… 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 9
(継続企業の前提に関する注記) …… 10
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) …… 10
(重要な後発事象) …… 10

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、米国の通商政策の動向や地政学リスクの高まり等により先行き不透明な状況が続いたものの、AI関連投資の拡大等に支えられ、総じて底堅く推移しました。また、わが国経済は雇用・所得環境の改善や企業の設備投資の増加等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中東情勢の緊迫化、原材料・エネルギー価格の上昇に加え、為替相場の変動、物価上昇の継続など、引き続きリスク要因が多い経済環境が続いています。

こうした状況下、当社グループの受注高は、半導体・液晶関連装置市場向け駆動システム商品の受注が高水準で継続していることを主要因として14,253百万円（前年同期比4,240百万円、42.4%増）と大幅な増加となりました。

また、売上高についても、駆動システムセグメントを中心に全てのセグメントで増加し、10,835百万円（前年同期比2,218百万円、25.7%増）となりました。

利益面に関しては、駆動システムおよび機工・計測システムが売上増加に伴い前年同期の営業損失から黒字回復した一方、金型システムが営業損失となった結果、営業利益は117百万円（前年同期は営業損失74百万円）となりました。上記営業利益に支払利息124百万円、持分法投資損失60百万円等を計上した結果、経常損失は34百万円（前年同期は経常損失87百万円）となりました。一方、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、投資有価証券売却益979百万円を計上したこと等により714百万円（前年同期比593百万円、493.3%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりです。なお、下記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

○ 駆動システム

当セグメントでは、昨年末に急回復した半導体関連装置市場向け商品の受注が引き続き高水準で推移しており、受注高は7,879百万円（前年同期比4,975百万円、171.4%増）と大幅に増加し、半期ベースでは過去最高となりました。売上高についても、旺盛な需要を背景に、4,519百万円（前年同期比1,539百万円、51.6%増）と受注高の増加には及ばないものの、大幅な増収となりました。

収益面では、売上増加に伴い単体および米国子会社の営業利益が大幅に改善したこと等により、営業利益548百万円（前年同期は営業損失154百万円）と大幅な増益となりました。

○ 金型システム

当セグメントでは、車載用モーターコア及び家電用モーターコア等の受注が減少したこと等を主要因として受注高は4,039百万円（前年同期比705百万円、14.9%減）となりました。一方、売上高は、車載用モーター向け金型等の売上が減少したものの、車載用モーターコアの売上増が寄与したことにより4,456百万円（前年同期比365百万円、8.9%増）の増収となりました。

一方、収益面においては、相対的に利益率の高い商品の売上が減少したことに加え、中国におけるEV開発競争激化により金型の短納期対応のための外注費が増加して型売事業の利益率が低下しました。また、今下期より本格的に量産開始予定の新規プロジェクトに関しては、生産立ち上げに伴う一時的な費用が先行したこと等から、営業損失564百万円（前年同期は営業利益127百万円）を計上しました。

○ 機工・計測システム

当セグメントでは、受注高は工作機械部門、要素機器部門においては前年同期比増加したものの、精機部門において前年同期に特定顧客からの大口受注があったことの反動で、セグメント全体では2,359百万円（前年同期比18百万円、0.8%減）となりました。一方、売上高については、工作機械部門、要素機器部門の売上増加により1,885百万円（前年同期比324百万円、20.8%増）の増収となりました。

収益面では上記の売上増加に伴い、営業利益は139百万円（前年同期は営業損失40百万円）の増益となり、黒字回復しました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は31,182百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,979百万円増加しました。これは主に繰延税金資産の減少等により固定資産が425百万円減少した一方で、売掛債権の増加等により流動資産が2,404百万円増加したことによるものです。

負債合計額は18,932百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,355百万円増加しました。これは主に長期借入金の減少等により固定負債が259百万円減少した一方で、仕入債務の増加等により流動負債が1,615百万円増加したことによるものです。

また、当中間連結会計期間末の純資産は12,249百万円となり、前連結会計年度末と比較して623百万円増加しました。これは主に為替換算調整勘定の減少等により、その他の包括利益累計額が51百万円減少した一方で、利益剰余金の増加等により株主資本合計が689百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比較して278百万円増の3,639百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は870百万円（前年同期は331百万円の増加）となりました。これは主に棚卸資産の増加628百万円等により資金が減少した一方、仕入債務の増加1,605百万円、減価償却費607百万円等により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、増加した資金は351百万円（前年同期は861百万円の減少）となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入1,020百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は965百万円（前年同期は772百万円の増加）となりました。これは主に短期借入金の返済600百万円等により資金が減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の通期連結業績予想につきましては、2026年11月11日の「法人税等調整額の計上及び2027年3月期第2四半期（中間期）業績予想並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,360,854	3,639,517
受取手形	2,303	4,679
電子記録債権	252,656	215,324
売掛金	5,151,929	6,251,288
商品及び製品	1,362,769	1,270,449
仕掛品	2,187,538	2,514,470
原材料及び貯蔵品	1,068,408	1,495,280
その他	1,140,523	1,539,949
貸倒引当金	△3,175	△2,330
流動資産合計	14,523,809	16,928,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,070,615	4,014,024
機械装置及び運搬具（純額）	1,582,492	1,465,070
土地	1,869,755	1,869,755
リース資産（純額）	2,102,166	1,948,531
建設仮勘定	697,086	876,259
その他（純額）	229,054	253,346
有形固定資産合計	10,551,171	10,426,987
無形固定資産		
その他	177,356	213,448
無形固定資産合計	177,356	213,448
投資その他の資産		
投資有価証券	2,757,314	2,672,856
繰延税金資産	979,928	708,105
その他	215,733	234,527
貸倒引当金	△1,751	△1,730
投資その他の資産合計	3,951,224	3,613,758
固定資産合計	14,679,752	14,254,194
資産合計	29,203,561	31,182,822

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,326,964	2,669,596
電子記録債務	972,931	1,255,139
短期借入金	4,385,771	3,856,516
リース債務	383,008	403,890
未払法人税等	160,408	52,369
賞与引当金	256,579	265,307
受注損失引当金	9,646	13,729
資産除去債務	42,324	42,324
その他	1,997,658	2,591,824
流動負債合計	9,535,294	11,150,699
固定負債		
長期借入金	4,029,950	3,851,992
リース債務	1,778,169	1,658,431
再評価に係る繰延税金負債	369,190	369,190
繰延税金負債	－	35,939
役員退職慰労引当金	17,977	18,967
退職給付に係る負債	1,227,253	1,239,458
その他	619,154	608,222
固定負債合計	8,041,696	7,782,203
負債合計	17,576,990	18,932,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,952,174	1,963,052
資本剰余金	1,578,783	1,598,708
利益剰余金	5,029,732	5,688,170
自己株式	△147,309	△147,309
株主資本合計	8,413,380	9,102,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,385,894	1,396,696
土地再評価差額金	803,960	803,960
為替換算調整勘定	712,274	666,740
退職給付に係る調整累計額	143,200	126,332
その他の包括利益累計額合計	3,045,330	2,993,730
非支配株主持分	167,859	153,568
純資産合計	11,626,570	12,249,920
負債純資産合計	29,203,561	31,182,822

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	8,617,225	10,835,322
売上原価	6,864,825	8,681,090
売上総利益	1,752,399	2,154,231
販売費及び一般管理費	1,827,182	2,036,604
営業利益又は営業損失（△）	△74,782	117,626
営業外収益		
受取配当金	29,004	46,897
為替差益	14,663	－
設備賃貸料	18,068	16,547
スクラップ売却益	14,222	26,377
受取補償金	46,700	－
その他	9,177	18,568
営業外収益合計	131,836	108,390
営業外費用		
支払利息	80,518	124,357
為替差損	－	38,246
持分法による投資損失	13,065	60,053
補償金原価	25,379	－
その他	25,987	37,803
営業外費用合計	144,951	260,461
経常損失（△）	△87,898	△34,443
特別利益		
固定資産売却益	0	－
投資有価証券売却益	286,362	979,569
為替換算調整勘定取崩益	－	97,007
特別利益合計	286,362	1,076,577
特別損失		
固定資産売却損	34	18
固定資産除却損	2,837	62
特別損失合計	2,871	80
税金等調整前中間純利益	195,593	1,042,052
法人税、住民税及び事業税	33,265	25,254
法人税等調整額	32,540	309,107
法人税等合計	65,806	334,362
中間純利益	129,786	707,689
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	9,389	△6,679
親会社株主に帰属する中間純利益	120,397	714,369

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	129,786	707,689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,576	10,801
為替換算調整勘定	△54,132	55,924
退職給付に係る調整額	△4,514	△16,867
その他の包括利益合計	△27,071	49,858
中間包括利益	102,715	757,548
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	96,551	759,776
非支配株主に係る中間包括利益	6,163	△2,228

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	195,593	1,042,052
減価償却費	587,175	607,282
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△462	△856
賞与引当金の増減額（△は減少）	△48,193	8,881
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	1,271	990
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△18,839	△12,408
受注損失引当金の増減額（△は減少）	3,169	4,083
受取利息及び受取配当金	△30,496	△48,654
支払利息	80,518	124,357
持分法による投資損益（△は益）	13,065	60,053
有形固定資産売却損益（△は益）	33	18
有形固定資産除却損	2,837	62
投資有価証券売却損益（△は益）	△286,362	△979,569
為替換算調整勘定取崩益	－	△97,007
売上債権の増減額（△は増加）	△106,982	△529,165
棚卸資産の増減額（△は増加）	△764,443	△628,102
仕入債務の増減額（△は減少）	831,195	1,605,093
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△88,184	△404,858
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△114,074	319,529
その他	100,959	△10,552
小計	357,782	1,061,231
利息及び配当金の受取額	44,657	45,859
利息の支払額	△81,995	△126,854
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	10,784	△109,451
営業活動によるキャッシュ・フロー	331,228	870,785
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△232,789	△668
投資有価証券の売却による収入	－	1,020,352
有形及び無形固定資産の取得による支出	△954,010	△662,415
有形及び無形固定資産の売却による収入	43	1
投資有価証券の有償減資による収入	309,626	－
その他	15,658	△5,298
投資活動によるキャッシュ・フロー	△861,472	351,970
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	66,644	△600,000
長期借入れによる収入	1,218,000	550,000
長期借入金の返済による支出	△667,399	△658,934
リース債務の返済による支出	△169,559	△197,647
セール・アンド・リースバックによる収入	469,300	－
配当金の支払額	△114,243	△55,931
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△30,566	△3,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	772,174	△965,512
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,465	21,420
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	228,465	278,662
現金及び現金同等物の期首残高	3,290,414	3,360,854
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,518,879	3,639,517

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

当中間連結会計期間において、KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD.は清算結了したため、連結の範囲から除外しております。なお、清算結了までの損益計算書については連結しております。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日 至2025年９月30日）

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	駆動システム	金型システム	機工・計測システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,967,052	4,091,367	1,558,805	8,617,225	－	8,617,225
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,918	－	1,402	14,321	△14,321	－
計	2,979,971	4,091,367	1,560,207	8,631,546	△14,321	8,617,225
セグメント利益又は損失（△）	△154,403	127,296	△40,064	△67,171	△7,611	△74,782

（注）１　セグメント利益又は損失の調整額△7,611千円は、セグメント間取引消去△4,101千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△3,509千円であります。

２　セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日 至2026年９月30日）

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	駆動システム	金型システム	機工・計測システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,494,662	4,456,751	1,883,908	10,835,322	－	10,835,322
セグメント間の内部売上高又は振替高	24,440	－	1,282	25,722	△25,722	－
計	4,519,102	4,456,751	1,885,191	10,861,045	△25,722	10,835,322
セグメント利益又は損失（△）	548,257	△564,292	139,818	123,782	△6,155	117,626

（注）１　セグメント利益又は損失の調整額△6,155千円は、セグメント間取引消去△6,155千円であります。

２　セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※１　現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
現金及び預金勘定	3,518,879千円	3,639,517千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	－	－
現金及び現金同等物	3,518,879	3,639,517

（重要な後発事象）

該当事項はありません。